

花巻の先人

「技術に国境」はない、みちのくの電信王、昭和期の政治家、

谷村貞治



「北上テクノポリス構想の原点」

今日の時点に立って谷村新興の地域工業化に果たした役割について言えることは、やはり、次のこと以外にはありえないであろう。

「新興の創業者、故谷村貞治氏は機械工業の盛んなスイスにあやかり、花巻を東北のスイスにする夢を持っていた。当時、新興という技術力では世界的な企業であったため、花巻、北上両市には今も精密機械関係の地場産業が多い。この地域は先端技術を抵抗なく受け入れて、現在、北上川流域テクノポリス圏域として発展している。谷村氏の先端技術にかけた心意気が脈々と受け継がれているようだ。」しかし、谷村貞治がスイスにあやかって目指したのは、本社・研究部門を持った自律型創造的技術開発型の企業である。

受賞

紺綬褒章 (昭和17年より同42年9回授与される)	昭和24年10月
電気通信大臣より感謝状を授与 (電気通信の功により)	昭和28年10月
日本電電公社より感謝状を授与 (電信機器の考案の功により)	昭和29年10月
第7回岩手日報文化賞 産業部門 (岩手の産業功労に対し)	昭和29年11月
発明協会の功労賞受賞 (発明考案の指導育成に尽くした貢献により)	昭和30年2月
日本電電公社総裁より感謝状を授与 (大阪局社の通信整備に対し)	昭和31年10月
紫綬褒章 (印刷電信技術の貢献により)	昭和33年4月
電気通信学会より賞状並に功績賞牌授与 (電気通信開発の業績に対し)	昭和33年5月
米国リトルロック名誉市民	昭和35年6月
第10回河北文化賞 (通信事業功労に対し)	昭和36年1月
勲二等瑞宝章	昭和41年4月
没後正四位叙勲	昭和43年4月

経歴

参議院議員。岩手県の体協の会長。岩手県経営者協会会長。総合開発審議委員。岩手県神社総代会会長。花巻商工会議所会頭。谷村新興製作所社長。日電商事社長。みちのく・コカコーラボトリング社長。盛岡グランドホテルの社長。花巻温泉社長。花巻電鉄社長。岩手県消防協会顧問。岩手医大理事。表千家東北支部長。岩手県遺族連合会名誉会長。

少年時代 上京

明治 29 年 3 月 19 日、

岩手県稗貫郡新掘村長谷場（現石鳥谷町新堀）に、父定紀（のち定衛）、母・たけの 4 男として生まれる。

宮沢賢治 明治 29 年（1896 年）8 月 27 日

孝市、時治、要、貞治

6 才、新掘尋常小学校に入学。 3 年生のころ石鳥谷の叔父・隣次郎の養子となり、石鳥谷尋常高等小学校に転校。

養母ナル

関栄一（宮沢賢治と盛岡中学同年のち石鳥谷町長）らと友人となる。

明治 43 年、

14 歳 3 月末、高等科卒業後、盛岡市鉤屋町の季村医院（院長常八氏）に奉公。

石鳥谷幾久屋の仲介

先生が留守の時、はれあがったヨコネの患者が飛び込んできて、非常に痛がって先生、先生とせがまれね、気の毒に思って、横に切ってしまったんです。

それが、切り方があるんですね。縦に切らないと危険なんです。横に切ると筋を切ったりするので、「これは誰が切った」、「なぜそんなだいそれたことをするか。お前はいつから医者になったんだ」って、えらく叱られましたよ。

17 歳 医術開業試験規則が廃止され、医師の道が断たれ、貞治は初志を変更通信省職員を志す。今年の九月から医師の開業試験制度が変更になり、専門の医学校終了義務づけられ事になり。医院長は貞治の境遇では医師は難しく、将来性ある電信技師を進められ通信講習所の試験を受けるところになった。

大正 4 年、

19 歳 春、通信講習所入所試験を 2 年連続して失敗した貞治は、紺屋町大島薬局の小僧と家出、夜汽車で上京。

人形町の安宿で 2 泊し職を探したが得られず、職を得ず 5 日で石鳥谷に帰る。

同行の小僧と別れ、着物を質に入れ、大きな 10 銭のパンを土産に帰ってくる。養父母は大したものを買ってきた喜ぶ。

再度上京のため田植えや卵買い、ふかし芋売り、護岸工事で資金を得ようとするが叶わない。仕事一番思い出は夏の田の草取りのくらいひどい仕事はねーじゃ。熱くて頭はおかしくナルし、腰は痛くなるし、何が辛いたって、あれが一番ひでー仕事だ述懐してる。

長男の孝市の仕事亀が森の石切場で働くが、義兄の貞吉に給料を巻き上げられる。

晩秋、養父の用事で日詰陳ヶ丘に行き大量の金茸を発見、八百屋に卸し5円50銭を得、翌日上京。
谷村貞治の「開運の金茸」の話がありますが

それはね、仕事がなくて休んでいるとき、近くの山へきのこ狩りに出かけたわけです。ところがですね。山の中でもそもそしていると、いきなり鉄砲で撃たれたんです。幸いその鉄砲玉は私の頭の上をカスって行って。いきなり猟犬が躍りあがって来て私を追い廻すんです。私はびっくりして転んだ拍子に足をぐっと持ち上げて防いだ。するとその犬がたじろいで引っ込んでいったんですが、危うく噛みつかれそうでしたよ。それで「あ、助かった」と起きあがって歩き出した途端です。丁度雨あがりの日で、黄金色の金茸が三つ四つ足元に見えたんで、よく見るとうねうねと日章旗のように四方八方一面に生えているんです。「あゝ、これは大変だ」とゾクゾク嬉しくなってそこにベタンと腰を下ろして、夢中で金茸をとったんです。ところが入れ物に入りきらない。それで上っ張りを脱ぎ、下に着ているものも脱ぎ、シャツ一枚になって、金茸を着物に一杯包んで、喜び勇んで帰って来た。

・・・その時の嬉しかった気持は、いまだにはっきり覚えていますよ。生涯のうちで何が一番喜ばしいことだったと、人から聞かれると私はその時のことを思い出します……………。

その金茸の事を八百屋が聞きつけて早速「それを売ってくれ」と来たんです。とてもそれは食べ切れるものではないんですからね。「いくらで買うんだ」といいましたら「五円五十銭で買おう」これはとても安かったが東京までの汽車賃3円50銭を得て上京
後楽園近くの下宿水戸屋に宿をとり、職を探す。

通信局時代 関東大震災

上野公園で中央通信局電信工夫募集のビラを見て応募。大手町の中央通信局見習となる。
10日後係長に認められ本採用となり月給8円を給される。本郷元町の借間に移り、自炊をはじめめる。

大正5年、

20歳 飯田町の東京歯科医学校夜間部に、次に麹町の明治薬大夜間部に入学したが、医学を断念し、神田電機学校に入学。9月、徴兵検査のため、はじめて三つ揃いの洋服で一時帰郷、稗貫郡役所で歩兵甲種合格となる。

昼間は労働しなくちゃならんし、夜は医者志しめがたく。そういう学校で勉強しなくちゃならんとなれば、非常な重労働ですけど、六ヶ月ぐらい頑張っただけで続けましたよ。夕方にいつものようにノートを見ながら学校へ急いで行ったんです。ところが向こう見ずに道ばたを歩いていたので、思い切り強く、太い電信柱にゴッンと正面衝突しましてね頭をぶつけちゃったんです。白から火花を散らしましてね。

大正6年、

21歳 神田正則英学校に入学、徹底約に英語を学び、やがて独力で電信に関する原書を読破するまでになる。5等工夫から3等工夫に昇進し埼玉県担当課勤務となる。

神田正則英学校明治時代の英語教育が旧制高等学校入学を目的とした詰め込み式の変則であったことに対して、正則な英語教育を行うという意味から由来する。

俺もなにか、人を驚かすモノを造らなければ」

私はあまり電信柱には登りませんでした。ある時半纏腹かけで所沢近くの電信柱に登っていただけで、頭の上の青空に飛行機が飛んで来た。・・・その頃はまだ飛行機の珍しい時で、・・・電信柱の上からはじめてそれを眺めながら「あゝ、人間てゆうものはすごいモノのだ、私も何か人を驚かすようなものを作ってみたい」そう電信柱の上で感動したことを覚えています。そんな気だったものだから仕事は真面目にやりましたよ。

大正7年、

22歳 1等工夫、工夫長を経て逓信局技手に昇進、明神下同朋町の借間に居を移す。

この頃、石鳥谷役場から簡易点呼の通知があったが、汽車賃が惜しいと無視、憲兵に寝込みを襲われ、東京区裁に送致され、罰金として汽車賃と同額の3円50銭を科せられる。

小唄師匠勧めで唄で訛直し芸事の一つぐらい覚えでねばこれなら偉くなれないぞ言われ。孤独の慰めに浅草宮戸座・御園座・公園劇場など木戸3銭の芝居に通う。

大正12年 9月1日、

関東大震災に見舞われ、借家全焼家財すべてを失う。

震災復興で電工に仕事をする。

上司が代わり不満を募せていた時でもあり、貞治はこの機会に独立を志す。

トキ（後の昌子と出会う）。

大正13年、

28歳 英国サミュエル商会電気機器部に引き抜かれる。入社初日、英国人副社長から月給の半年分九百円を支給され、英字電信機クライシュミット型の邦字電信機への転用開発を任せられ、本格的研究に入る。

イギリスの貿易商社月給百五十円逓信省の課長が五十円

大正15年、

30 歳 外国資本排斥の風潮の中、サミュエル商会は逓信省との契約のトラブルもあり、日本・スイス合弁の日端貿易会社に全ての権利を譲渡し、英国に撤退する。貞治は日端貿易会社に残り、月二百五十円を支給される。

昭和 2 年、

31 歳 日端貿易新工作所の主任技師兼工場長に就任、和文鍵盤鎮孔機の開発に努める。この間、東北大学金属研究所に派遣され、本多光大郎博士の指導を受ける。

昭和 4 年

32 歳 6 月、最初の特許「和文印刷電信機用 6 単位鍵盤鎮孔機」を出願(昭和 5 年 4 月公告される)。外国の商社で仕事を特許の大切を知る、。奨励展覧会へ出品、来日した会長に帝国ホテルで供饗される。(逓信省はこの鎮孔機で全国印刷電信回信網を敷設)。

結 婚 独 立

昭和 7 年、

36 歳 逓信省はテープ式印刷機の全面国産化計画を策定、貞治はこの印刷機開発に取り組む。この頃昌子（千葉県立国友高女卒。31 歳）と結婚。

昭和 11 年

40 歳 5 月、製造事業法公布により外国資本会社の国内での事業が決定的に制限される。日端貿易も大阪本社に引上げ事業を縮小する。

昭和 12 年、

41 歳 営業の部長は利益の独占を画策し、貞治を指弾する。これを機会に独立を決意。大阪日端貿易本社へ出向き、慰労金二千円を得て退職する。

手持ち金六千円と合わせ八千円で、萩中に千六百坪の土地を購人し、6 月 1 日「新興製作所」を設立する。

草地に社の看板と郵便受けを設けただけで、朝鮮・満州・華北に渡る、朝鮮逓信局・蒙疆電通・満州・華北・華中各電電等から注文を取りつけ帰国。50 坪の急造の工場兼事務所を建て、従業員 20 人でモールス自動送信機、クラインシュミット鍵盤鎮孔機等の生産を開始する。

「新興製作所誕生」

工場地帯の蒲田ではあるが、まだ所々に広い空地があったので、家内と共にアチコチ探した末、萩中の新居にも近い、そして今に見ろという気持ちもあって、日瑞工場にも近いところに千五、六百坪ほどの場所を発見し、取り敢えず巾五間奥行十間、五十坪の小工場が建築され、次に八方駆けずり回って集めた必要な機械が入れられ、いよいよ門出を飾る工場名をつけなければなりません。家内と相談して自分たちの意気をそのまま現わして「新興製作所」と命名した。

昭和 16 年、

45 歳 電々公社からの現字機の大量注文や陸海軍管理工場の指定を受けて、第 3 次・第 4 次工場拡張を行い、製造・営業両部門の組織化を断行する。

海軍省艦政本部から「3号現字機」一万台余を受注 {

一千六百万円の注文]

艦政本部から呼び出しを受け、困ったなと思いながらたずねると、本部長がいきなり「どうだ、こんなものが出来んか」と切り出した。

畏まって説明を開くと何のことはない、既に私の作っている現字機、モールス式符号を自動的に受信する機械でした。それを一週間以内に造れというので、少々無理とは思ったが、成せば成るもので、指定の期日にどうにか試作が仕上がって、持参したところ、本部長も「これだ、これだ」と大のご機嫌で「そんなら一つ、谷村君をテストするぞ。どうだ一ヶ月の期間を与えるから、この機械を六百台揃えて納めんか」と半ば命令です。「さし当たり四百台ぐらいにして頂きたい」と答えますと、本部長も快諾「よしよし。但し期限厳守だよ」ということで即座に大仕事を背負ってしまいました。

従業員を叱咤激励しながら、幾日か徹夜も続け、工場はさながら戦場化して一ヶ月、どうにか注文通り四百台を仕上げることに成功した。

本部長は殊の外の満足げに「いや、よくやって呉れた。テストは満点だ。御褒美に今度は大量の注文を出すぞ」と言って、直ぐ部下に注文書を書かせた「さあこれだ」と無雑作に差し出したのを見て驚いた。既に納入した四百台の精算書と新しい注文一万台の前渡金を併せて金額千六百万円也。

戦前の千六百万円と言えば夢のような大金です。私は一万台という新しい大量発注をこなせるかどうかを心配する前に、千六百万の金額に茫然とした。本部長は大金を前にして「ぬかりなくやってくれよ」と言うと、私は感激してそれを押し戴きました。

千六百万円の前渡金を得て直ちに安田銀行に預金し、これが契機で同行安念頭取と泥懇となる。(富士銀行 2000 年 (平成 12) 9 月、第一勧業銀行、日本興業銀行とともに持株会社「みずほホールディングス」なりとなり現みずほ銀行、)

戦 火 敗 戦

昭和 17 年

最初の紺綬褒章を授華 (以降 8 回授与される)。

昭和 18 年

47 歳 3 月、花巻より職業転換で職業を失った店主ら 90 人を受け入れる。

花巻の報国隊の宮沢卯三郎さんからこの近くの工場も爆撃に備えて疎開をはじめてめおり、新興製作所の分工場を花巻に造っていただければ、自宅から工場に通う事が出来ます。私の店が大町と精養軒の角にありますから、そこを分工場にすれば早く出来上がります。との話があった。(宮沢) 廃止店舗で今の花巻の町はがらがらです。呉服商は5割廃業、お菓子やは全廃、青果、食料品は6、7割は廃業です北条時計屋、よもぎ、丸呉、佐竹、照藤、松屋、明治屋、玉川屋、料理やだば、おらほ、よもぎど公会堂、おかめ、米久、まず、すさまじい勢いで店畳んですっかりさびれで居ます。

ヤムラさんの会社が、花巻に来ないど、第2、第3の花巻の報国隊は満州に行くと言ってます。なんとか、花巻で工場を建てていただきたいです、同じ岩手県人だと気心が分かって働きやすいです。

(谷村) 一緒に働くのなら、私だって同郷の人の方が良いですよ。

(昌子) 岩手には。メッキ工場や下請けしてくれる部品工場が無いでしょう。

8月、(工場疎開に先立ち) 花巻宮沢卯三郎氏から提供された大町店舗を花巻分工場として発足させ、東京本社で修練した花巻の報国隊員を就業させる。

この頃、蒲田高等女学校校舎を工場に転用し、宮古・岩泉等の学童挺身隊を受け入れる。

昭和19年

48歳 3月、第1次軍需会社に指定される。工場の一部を花巻四日町に疎開させたほか、町の諒解のもとに花巻東公園に数棟の工場を建設し、地元報国隊員や黒沢尻工業動員学徒を就業させる。

昭和20年

49歳 4月15日夜、蒲田一円の大空襲で、工場・倉庫・寮・自宅など全てを焼失、貞治は花巻で空襲の報を開き、急ぎ上京。工場の焼け残りの銅板で10坪余の小屋を建て、寝泊りする。花巻から10人余の救援隊が到着。避難していた学童挺身隊と昌子夫人を花巻救援隊に托す、8月10日の花巻空襲で大町工場を焼失。8月15日の終戦詔書の放送を第一ホテルで聞き、虚脱状態のまま昌子夫人のいる花巻温泉の別荘に引き込み、一時は会社の再興を断念する。

「敗戦、涙、すべてが、むなしく」

残務処理のため私はまた東京へ引き返したが、十五日昼「堪え難き堪え、忍び難きを忍び…」という天皇陛下の声涙と共に下る終戦詔勅を、第一ホテルの仮事務所のラジオで泣きながら開きました。これで万事終わった。軍もなくなり仕事もなくなった。そして残務も自然消滅したので私自身、敗残の気持ちで花巻へ帰ったのです。

花巻は死んだようにさびれており、焼け跡の取り片づけは済んで漸くバラックが建て始められていた。但し再建らしい活気は全く見られない。

私の工場は無事に残ったものの、働いている人達もただ茫然自失の状態です。これからの世

の中はどうか誰にも判断がつかない。連合国の占領地になって日本人は片隅で暮らさねばならないのではないか、などと考えれば、もう何をする気も起こりません。三十年来悪戦苦闘してきた電信の仕事。たとえ戦争に勝っても負けても、和文と英語を併用するテレタイプが絶対に必要になる、男の一生の仕事としてそれを成し遂げねばならぬと自分に固く言い聞かせた情熱も今は忘れたように消え失せて、どうなろうと自分の知ったことではないように思われる。

二度と工場を興そうという意欲は全くない。・・・これが虚脱というものでしょう。

私は永久に仕事を一切やめる決心をして・・・しばらくは遊んで食べられるだけの金は持っていたので、とりあえず花巻温泉の別荘に家族と共に引っ込んでしまいました。花巻工場を創設した報国隊もそれぞれ本業に復帰することになったので九月大沢温泉で解散式をあげました

熟き想い再び燃え」

GHQ の命令で破壊された国内の電信施設を即時復旧せよという命令が出され、新興の印刷電信の技術が必要だ、是非やってくれということです。

電々公社の計画では、一ケ年に何千台も生産し、それも五ケ年計画でという大変な仕事なので、資金的にも無理があろうから、三社ぐらいを合併して一つの新会社を作り、新興からは専ら技術を提供してくれればいいという。私は印刷電信については今日あるを期し戦時中にも専心研究を続けて、すでに凶面も仕上げているので、技術的には自信が持てた。実は私が待望したその時期があまりにも早く来たことに内心驚いたわけです。

震災による電信復興は5年間で行うと言うのがGHQの命令なのです。

すると、1年間で。

約1200台の設置となります。

すごい数ですなあ。

リーダに流すと、自動的にシフトが変わってタイプされるわけですか。

ヤムラさん電気通信省ではこの復興事業を電信メーカー三社の合併で会社を設立して、生産にあたらせる、方針で。

待って下さい、三社でこの事業をやるわけですか。

はい。新興さんには、技術の方を、生産と販売を後の2社で行う事で了解は頂いております、是非、新興さんの協力を頂きたいと思い今日、お伺いいたしました。

他の二社とは、どちらでしょう。

黒沢商店（後の富士通）と沖電気です。

そうですか、黒沢さんと、沖電気さんですか。

だがどうも気に入らないのは電気通信メーカー三社と合併して、という案で、谷村は痩せても枯れても常に一本立ちを自負して来たし、いま自分の「いのち」として来た印刷電信の実現に当ってひとのフンドシで相撲をとることなど思いも寄らない。与えられた今回の大仕事に対しても既に私の胸三寸に目算が出来ているので私は「おこがましいようですが、三社合併ということならお断りさせていただきます。が、私独りに任せて頂けばお引き受けしましょう」と答えた。相手は驚いた顔をして、危惧の色さえ浮べたのに対して、「決して資金のことなら皆さんに御心配はかけません」と念を押して、この全国の電信復旧という大仕事を、私独りで背負うことに決めました。このことが将来電気通信メーカーとして、十歩も百歩も他に水をあけることに

なり、また今日の花巻新興を築く基礎ともなったわけですが、この好機を与えられたお陰で消えていた私の血は燃え立ちました。

事業再開 テレプリンター完成

GHQ の命令による通信網の復旧のため仮名文字印刷電信機の製造を依頼され再び事業への意欲を燃やす。10月1日、新興製作所を花巻を本拠に再出発さ（従業員百人）、公衆電報送受信用印刷電信機の製造開始する。

昭和 21 年

50 歳 5 月、山菜採りのため従業員集団欠勤。

昭和 22 年

6 月、従業員に田植休暇 5 日間、山菜採り休暇 3 日間の公休を容認る。

11 月、逓信省技術者を対象とした印刷電信機保守講習会を主催（以後毎年開催）

昭和 25 年

54 歳 和欧文テレタイプ S T 型印刷電信機の試作品を完成。3 月、自民党岩手県連顧問に就任。同月、「谷村学院」（和裁。洋裁）開校（理事長谷村貞治、副理事長谷村昌子、理事鈴木彦次郎、土藤正治、鳥海登ら）。7 月、岩手県地方労働基準審議会委員に就任。12 月岩手県総合開発審議委員に就任。

「テレプリンターが評判になる」

第一物産（三井物産）が新興テレプリンター（略 ST）をとりつけて間もなくこういうことがありました。大阪に大きな入札があって、早速テレプリンターを利用して、入札三分前に東京本店から大阪支店に入札価格を通報した。それがタイミングよく落札した。

忽ち二千万円儲かったということで、テレプリンターのお陰だと大変感謝されました。前から価格を知らせると洩れる恐れがある。それを洩れないようにぎりぎり間に合うようテレプリンターで通報出来たことで成功したもので、これは長距離電話では出来ない。その事が評判になつて、第一物産にその機械を見せて欲しいと各社から人が訪ね来て、大きい PR になりました。

昭和 28 年

57 歳 3 月、岩手県地方労働発準協会副会長に就任。4 月、国産初の 6 単位 3 段シフト頁式和欧文テレプリンター完成。10 月、電気通信の功により電気通信大臣より・感謝状を授与される。12 月、岩手県職業安定審議会委員に就任。朝日新聞社より漢字電信機開発の依頼を受ける。

昭和 27 年

56 歳 3 月、電報機械化中継機を完成。春、実用化研究所を設立。

渡 米 文 化 買

昭和 27 年

頁式和

欧文テレプリンターが米国WE社の特許抵触の恐れが生じ、佐藤栄作通信相の紹介状を得て、4月昌子夫人と通訳役関英夫を伴い渡米。ニューヨークWE本社で5年間の技術協定に調印。シカゴなど間連会社を視察、サンフランシスコで多田等観の歓待を受けて5月帰国。この年、国鉄に貨車編成用プラテンキヤリエージ方式プリンターを、気象庁に異単位符号変換機を納入する。東京三田功運町に東京本社を建設。

岩手を認めさせること、そのために

谷村さんに政界進出についてたずねたことがある。

電気通信界にあって谷村新興製作所のテレプリンターは技術革新の寵児としてもてはやされ、ご本人もその発明に大きな誇りを持っていた。しかし、国際市場に出すには米国の会社（ウエスタン・エレクトリック）と提携しなければと考え、当時、通産大臣だった佐藤栄作氏にこの話を持ち込んだ。佐藤通産相は「いくら優れた技術や製品でも田舎（花巻）の会社では世界が相手にしないだろう。手っ取り早い方法は社長の君が国会議員になることだ。

昭和 28 年

57歳 4月、谷村学院長に谷村昌子就任。7月、花巻商工会議所会頭に就任。12月、岩手放送設立株主となる。

昭和 29 年

58歳 3月、岩手県消防協会顧問に就任。4月、新興印刷電信サービスステーション社長となる。同月、日本電電電気通信技術委員を委嘱される。

5月、岩手県神社総代連合会会長に就任。10月、日本電電公社より感謝状を授与される。11月、第7回岩手日報文化賞（産業部門）を受賞。この頃、阿部千一、大矢半次郎らと「民主化同盟」を結成し県下を巡回講演する。防衛庁用特殊印刷電信機納入。小野田セメントと共同でIBMと連動する統計機の開発をはじめめる。

海外輸出 谷村新興誕生

昭和 30 年

59歳 1月、花巻公民館建設功労者として感謝状を授与される。2月、社団法人

発明協会の功労質受賞。ビルマ・セイロン・インドネシア・カンボジア・朝鮮用テレプリンターを開発し当該地に輸出。5月、岩手県政顧問となる。

7月、早池峰神社奉賛会に50万円寄金。8月、朝日新聞社依頼の漢字テレプリンターが完成し、東京有楽町朝日新聞社ホールで展示ト公開する。朝日新聞社は同機を東京・名古屋・大阪・小倉の各社に設置稼働させる。

昭和31年

60歳3月、岩手県経営者協会会長・日本経営者団体連盟常任事・岩手県発明協会々長・社団法人発明協会岩手支部革に就任。8月、国際電電より大阪局舎の通信整備で感謝状を授与される。

10月、日本電電公社総裁より加入電信宅内装置完成により感謝状を授与される。

昭和32年

61歳1月、岩手県体育協会々長に就任（年間総予算20万円の体協に50万円寄金）。

4月、「学校法人谷村高等学校」開校。6月、「谷村株式会社新興製作所」発足（資本金2億円、取締役社長谷村貞治、従業員六七〇人）。

6月、花巻市社会福祉協議会会長、岩手県社会福祉協議会顧問ら子就任。

6月、第10回東北経営者大会（花巻温泉）を主催。7月、岩手県遺族会名誉会長に就任（さくら会館に寄金）。8月、財団法人岩手医大理事となる。

入院 国会へ

昭和33年

62歳 4月、印刷電信技術の貢献により紫綬褒章を授与される。

同月『白萩荘随談』（岩手放送）を刊行。5月、花巻の消防演習で万歳の音頭を取ったとたん肺膜欠損で倒れ、岩手医大付属病院に入院、手術を受ける。

同月、社団法人電気通信学会よりの賞状並に功績賞牌を病床で受ける。

昭和34年

63歳 4月、新工場（鉄筋5階建2千5百坪）完成これにより谷村新興は敷地1万5千坪、建物延6千5百坪となる。岩手保護観察援護会々長に就任。

次の参院選に出るのなら自民党公認候補として佐藤派が面倒みよう」との激励を受け、見事に初当選した。国会では佐藤派に所属したことはいうまでもない。ところが、任期途中に自らの意思で当時、首相だった池田勇人氏ひきいる宏池会に所属替えした。理由は自民党総務会長の“当て職”となっていた鉄道建設審議会長を池田派の長老、益谷秀次氏が務めていたからである。国内の鉄道建設計画はすべてこの鉄建審で決められていた。「まぼろしの鉄道」とまでいわれた三陸縦貫鉄道をなんとか日の目を見させたいの一心からであった。三陸縦貫鉄道は戦前も戦前、昭和十一年に計画予定線になってから二十五年間、放置されたまま。それが谷村さんの強力な働きかけで三十六年五月、調査線に取り上げられ、わずか十ヶ月後の三十七年三月には本

格着工の建設線へと異例の昇格となった。そのかげには谷村さんの“ク益谷参り”があった。一言でいって「この人が、そこまで・・・」というほど“物心両面”の心遣いをしたことだけは付け加えておきたい。すべては谷村さんのあふれる郷土愛以外外のものでもなかつ

6月、鶴見祐輔、渡辺長福を破り、参議院地方区議員に当選。

昭和 35 年

64 歳 3月、国際電子計算機人出力装置、完成。(5月、チリ地震発生) 参院三陸チリ津波対策委員長となる。6月、米国リトルロック名誉市民に推される。この年、谷村新興の漢字テレプリンターの全国シェアが 66.3%を占める。

石鳥谷大正橋架替促進同盟会長に就任。岩手総合職業訓練所の設立に尽力する。

昭和 36 年

65 歳 1月、第 10 回河北文化賞を通信事業並びに東北産業界への貢献により受賞。年賀切手「金のベコツコ」(岩手) 発行に参院郵政委員として尽力。

5月、参院鉄道建設審議会委員となり、三陸縦貫鉄道実現のため編成の調査団や益谷会長らを数度三陸に案内する。11月、花巻温泉株式会社社長に就任。

花巻の工業生産高の約半分をしめる

昭和 37 年

66 歳 3月、三陸縦貫鉄道が建設線に決定する。6月、花巻電鉄株式会社社長に就任。

10月、みちのくコカ・コーラボトリング株式会社社長に就任。

11月、米国 WE 社との契約更新の要務もあり、昌子夫人を伴いストックホルムから独・仏・伊・英・米を約 1 ヶ月かけて視察。この年の谷村新興の年間売上高が 25 億 9 千万円となり、花巻市の工業生産高の 43.6%を占める。

昭和 38 年 8 月

67 歳 5月、日電新興商事株式会社(日本電気と谷村新興同額出資)を設立し社長に就任。7月、自民党岩手県連会長に選任される。大谷薫チームが SCT(コンピュータタイバー)を完成させ、米国事務機デザイン展賞を受賞。

昭和 39 年

68 歳・3月、花巻空港開港式に出席。4月、郵政省は PCS 方式による為替貯金窓口業務の合理化のため、その開発を東芝・松下・谷村新興に依頼。

10月、東京オリンピックで谷村新興の STP 型が活躍。以降、官庁、企業の IDP 方式の導入に伴い谷村新興に対する需要が急増。この年、参院科学技術振興特別委理事として欧米技術事情を視察。PTS の試作に成功。

昭和 40 年 69 歳 春、渡米、IBM 本社で特許に絡む技術協定の契約に成功する。

7月、参院地方区選で社会党山本弥之助氏を破り再選する。同月、盛岡グランドホテル社長に就任。

昭和 41 年

70 歳 4 月、勲二等瑞宝章を授与される。同月、財団法人岩手県体育協会会長に就任〈昭和 45 年の国体開催地に立候補しその実現に尽力する。盛岡市青山町に「トレーニングセンター」を私財を投じて建設する。9 月『この道ひとすじに一運・鈍・根の人生』を刊行。この年、谷村電気精機株式会社を設立し、社長に就任するとともに、通信機テレックス専門工場として生産規模の拡大をはかる。国際電電公社の要請による国際テレックス装置を完成。

S - 100 型データプリンターの販売を開始し、コンピュータ・データ通信への参入をはかる。

昭和 42 年

71 歳 11 月、花巻市鳥谷崎神社境内に谷村貞時寿像建立。加人電信宅内装置の谷村新興のシェアが 65% を占める。

昭和 43 年

72 歳 2 月末、入院中の東北大学附属病院にて酸素吸入中のベッドの上で米国 WE 社との特許契約更新の文書に署名し、エレクトロニクスを核とした構想を語る。

4 月 20 日、肺気腫のため東北大付属病院で死去。死後、正四位叙勲。

4 月 24 日葬儀（戒名 最勝院禎徳慈厚浄心大居士、菩提寺 花巻・曹洞宗天巖寺、宗青寺）。

多摩霊園 埋葬場所： 26 区 1 種 9 側